

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	回転翼航空機と連携した山岳救助活にダウンウオッシュによりアルミシートが飛ぶ。
3. 体験した事例の中心的要素	回転翼航空機のローターやエンジン吸気口への貼り付きによる墜落危険。
4. 体験した事例の原因・理由	ダウンウオッシュの方向性や風圧についての認識不足と事前指示不履行。

【体験した事例の直接的な原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	状況判断に問題があった。 行動の実行に問題があった。
------------------	-------------------------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成21年6月15日 午後4時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：山間部の沢筋
4. 体験した事例の種類	
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	死亡していた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	その他：回転翼航空機との連携活動中にシートが舞い上がる。
7. 事例体験時の活動	救助現場活動中期
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	その他：回転翼航空機ホイストを活用した機内収容活動中。
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

○当事者A	年齢[29]歳、勤続年数[7]年、現場経験年数[4] 年、階級[消防副士長] 同様の活動 [初めて]、任務 [隊員]
○当事者B	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[] 年、階級[] 同様の活動 [], 任務 []
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[] 年、階級[] 同様の活動 [], 任務 []
○その他(当事者が4人以上の場合)	

[illegible]

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	小隊長	ダウンウオッシュ発生に備え機材の飛散防止を指示	
経過2	隊員A	機体誘導	
経過3	隊員B・C	要救助者を担架に収容	
経過4	隊員C	アルミシートを他の荷物で抑える。	
経過5	県警ヘリ	回転翼機がホイストを降下しながら接近	
経過6	隊員C	ヘリを注視	
経過7		アルミシートが上空に舞い上がる。	
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

[illegible]

○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

たまたま、事故にならなかった。その他：上空に舞い上がった後、立木に引っかかり後方監視員が回収した。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	はい

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	はい

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	はい

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	はい
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	はい

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

--

○装備・資機材の対策について

--

○活動環境の対策について

--

○指揮・情報伝達の対策について

--

ヒヤリ・ハット概要図

機体は上空約30m付近でホバーリング中。



ダウンウオッシュにより上空に約20m舞い上がったアルミシート。
(幸い、樹木に引っかかり活動中に回収に向かう。)



沢筋での活動のため、要救助者の保温のためにアルミシートを使用している。



当初は減圧担架にてホイスト収容を予定していたが、ハーネスに変更となったためにアルミシートは離脱した。

